

# 〈9月〉問行革アクションプラン

## 鈴鹿市行財政改革 アクションプラン

### 地域医療、市立体育館長寿命化

したいと答弁でした。

#### 施設・インフラ白書を

取組⑥「公共施設の全体運営指針の作成」について問いました。

論点は公共施設だけでなく、道路

・橋りょうや水道管、下水道など

のインフラも含めた取り組みに変更すべきということです。案に議会から意見もあったのですが、アクションプランの中身は変更されませんでした。そこで、現在の鈴鹿市の状況を市民にもわかりやすく提示、鈴鹿市の公共施設及びインフラを、今後すべてを維持更新するのか、それとも、再編や再配置を検討するのかを問いました。

新規投資はありますか?

あわせて、このように公共施設の全体運営方針が定まっていない中で、新たな公共施設に大きな投資を行い、また維持管理運営費に大きな金額をかけることは、非常にリスクがあることではないかと問いました。

#### 危機意識が低くないか

に対する答弁では、市長のトップマネジメントの取り組みといふこと、公共施設の後でインフラに取り組むこと、平成26年を日付に公共施設マネジメント白書を公表する考へが出されました。また、どのように維持更新を考えるかについては、市民や議会と検討、整理

地元医療を取り巻く課題は複雑で、医療資源を守るために、戦略的かつ継続的に地域医療に取り組む部門の設置、専門的に取り組む職員の配置・増員を問いました。

また、オール鈴鹿市として地域医療の課題に取り組むことを、大森副市長と長谷川教育長にそれぞれ問いました。

職員の配置・増員を問いました。

行政内には将来を危惧する人もいますが、市の考えとしては今ある計画を推進するばかりで、立ち止まつて考えを整理するという意識が見えませんでした。正直など

ころ、財政課題も含めての危機意識が低いと感じます。

#### 困つたら人任せ?

インフラも含めた取り組みに変更すべきということです。案に議会から意見もあったのですが、アクションプランの中身は変更されませんでした。そこで、現在の鈴鹿市の状況を市民にもわかりやすく提示、鈴鹿市の公共施設及びインフラを、今後すべてを維持更新するのか、それとも、再編や再配置を検討するのかを問いました。

新規投資はありますか?

あわせて、このように公共施設の全体運営方針が定まっていない中で、新たな公共施設に大きな投資を行い、また維持管理運営費に大きな金額をかけることは、非常にリスクがあることではないかと問いました。

#### 危機意識が低くないか

に対する答弁では、市長のトップマネジメントの取り組みといふこと、公共施設の後でインフラに取り組むこと、平成26年を日付に公共施設マネジメント白書を公表する考へが出されました。また、どのように維持更新を考えるかについては、市民や議会と検討、整理

利便性が向上しますし、その後、正体育馆を更新するときに、現在の機能を完全に停止させることなく、更新に取り組むところです。

答弁では正体育馆床面張替え、音響設備更新、電光掲示板、外壁その他の改修が上げられました。場所は稻生4丁目F1マート近く、1日最大7千食の調理総額は2億近くのこと。提案について、現時点でも考えにないと

いう答弁がありました。

ここから見えてることは、市立体育馆の改修に関して、市としてビジョンが弱いということです。また、バランスを欠いた公共施設に対する考え方、ここに影響しているのではないかと透けて見えます。

#### 市の姿勢に不安あり

音響設備更新、電光掲示板、外壁その他の改修が上げられました。場所は稻生4丁目F1マート近く、1日最大7千食の調理総額は2億近くのこと。提案について、現時点でも考えにないと

いう答弁がありました。

ここから見えてることは、市立体育馆の改修に関して、市としてビ

ジョンが弱いということです。また、バランスを欠いた公共施設に対する考え方、ここに影響しているのではないかと透けて見えます。

#### 基本設計について

音響設備更新、電光掲示板、外壁その他の改修が上げられました。場所は稻生4丁目F1マート近く、1日最大7千食の調理総額は2億近くのこと。提案について、現時点でも考えにないと

いう答弁がありました。

ここから見えてることは、市立体育馆の改修に関して、市としてビ

ジョンが弱いということです。また、バランスを欠いた公共施設に対する考え方、ここに影響しているのではないかと透けて見えます。

#### 基本設計について

音響設備更新、電光掲示板、外壁その他の改修が上げられました。場所は稻生4丁目F1マート近く、1日最大7千食の調理総額は2億近くのこと。提案について、現時点でも考えにないと

いう答弁がありました。

ここから見えてることは、市立体育馆の改修に関して、市としてビ

ジョンが弱いということです。また、バランスを欠いた公共施設に対する考え方、ここに影響しているのではないかと透けて見えます。

#### 基本設計について

音響設備更新、電光掲示板、外壁その他の改修が上げられました。場所は稻生4丁目F1マート近く、1日最大7千食の調理総額は2億近くのこと。提案について、現時点でも考えにないと

いう答弁がありました。

ここから見えてることは、市立体育馆の改修に関して、市としてビ

ジョンが弱いということです。また、バランスを欠いた公共施設に対する考え方、ここに影響しているのではないかと透けて見えます。

# 給食センターについて

質疑の中で、施設の給食供給能力は増やす予定はない。小学校の給食調理室について維持更新の計画は現時点ではなく、来年度の微調整で盛り込むことを検討するとのことです。

第一学校給食センター（中学校給食）の基本設計について、12月の市議会全員協議会で報告がありました。場所は稻生4丁目F1マート近く、1日最大7千食の調理能力、アレルギー対応100食程度の規模。概算事業費は、用地関連で2.4億円、本体17.6億円、中学校の受入整備4億円、計24億4千万円です。平成25年1月から実施設計、平成26年1月着工で12月完成、平成27年4月から給食開始の予定となります。年間の運営経費は約3億円です。

負担増やさず運営は?

こので考えて頂きたいのは、建設して運用が始まると、年間約3.4億円が義務的な出費として増えます。納税人口も減り、収税も減ることが予想される世の中で、運営するための財源をどうするのか、ひとつの方策が行財政改革アクションプランです。

建設債は世代間の公平な負担として発行額を増やすことは、納税人口が減ることからすれば決して公平とは言えません。前のめりに設して運用が始まると、年間約3.4億円が義務的な出費として増えます。納税人口も減り、収税も減ることが予想される世の中で、運営するための財源をどうするのか、ひとつの方策が行財政改革アクションプランです。

負担増やさず運営は?

こので考えて頂きたいのは、建設して運用が始まると、年間約3.4億円が義務的な出費として増えます。納税人口も減り、収税も減ることが予想される世の中で、運営するための財源をどうするのか、ひとつの方策が行財政改革アクションプランです。

建設債は世代間の公平な負担として発行額を増やすことは、納税人口が減ることからすれば決して公平とは言えません。前のめりに設して運用が始まると、年間約3.4億円が義務的な出費として増えます。納税人口も減り、収税も減ることが予想される世の中で、運営するための財源をどうするのか、ひとつの方策が行財政改革アクションプランです。

負担増やさず運営は?

こので考えて頂きたいのは、建設して運用が始まると、年間約3.4億円が義務的な出費として増えます。納税人口も減り、収税も減ることが予想される世の中で、運営するための財源をどうするのか、ひとつの方策が行財政改革アクションプランです。

#### いきあたりばったり?...

第二給食センター、キャッチフレーズ募集、急速充電器設置、ホームページトップページ更新… すべてに通じて感じることは、しっかりと考へられているのかということ。説明はそれなりに体裁が整ってはいるものの、「いきあたりばったり」な感じがします。聞こえや見栄えはいいのかもしれません、それが第一で、きちんと政策としてまとめられているのかといえば、そうは思えず、市政運営に大きな不安が増すばかりです。今できることを一所懸命に取り組みます。



公共施設やインフラの維持更新も問題です。学校施設や給食室の老朽化はもちろん、図書館、体育馆、市民会館などの建て替えはどうするのか、長寿命化をしてもらい寿命は来ます。先送りして建て替えはできるのでしょうか。